



2019年1月16日

報道関係者各位

アートフェア東京2019

これから日本のアートシーンを担っていくギャラリーとアーティストが作る、
6㎡の濃密な世界観

「Projects (プロジェクト)」出展ギャラリーと参加アーティストを発表!

14回目を迎える、日本最大級の国際的なアートの見本市「アートフェア東京 2019」(日程:2019年3月7日~10日、以下「AFT 2019」)の「Projects(プロジェクト)」出展ギャラリー、参加作家、出展内容を発表します。東京国際フォーラムのロビーエキシビションエリア(入場無料)で展開します。

Projects (プロジェクト)

プロジェクトは、これから日本のアートシーンで注目すべきギャラリーが1ブースにつき1アーティストの個展形式で発表するセクションです。国内外で精力的に活動している12軒の出展ギャラリーが、それぞれに趣向をこらしアーティストの世界観を6㎡に凝縮した、見応えある展示空間を作り出します。現代性、身体性、技巧性などの特色を強く感じることのできる作品や、折り鶴、テラコッタ、レーザーカットステンシルやジクレー、ビーズワックスなどユニークな素材を使用した作品、コンセプチュアルアートから、インスタレーションまで、今後注目のアーティスト12名の作品を展示・販売します。若手アーティストの作品を個展形式で発表する「Projects(プロジェクト)」では、比較的手の届きやすい価格帯の作品も多く、アートの購入が初めての来場者の方にもオススメです。

これからの日本のアートシーンを担っていくギャラリーとアーティストの作り出す濃密な展示空間をご覧ください。

P01 TAV GALLERY

磯村 暖 / Dan Isomura



磯村暖は近年において台湾の關渡美術やタイのワットパイローンウア寺院での滞在制作、キース・ヘリング生誕60周年記念イベントでのコラボレーション、香取慎吾の呼びかけによる「NAKAMA de ART」に新進気鋭のアーティストとして参加するなど、国内外で分野を横断しながら活躍の場を拓いている若手美術家。アートフェア東京2019では、現代の仏教美術を引用したセメント彫刻の他、「クレオパトラのワイン」という分子物理学に関する逸話に着想を得たキャンバスの表面上で液体が循環し形跡を残す絵画作品などを展示する。

地獄の星 / 2016
The Planet of the hell / 2016

P02 Wooly & CLEAR

中瀬 萌 / Moe Nakase



1993年、神奈川県生まれ。2015年から彫刻家である父に影響を受け、アーティストとして活動を始める。蜜蝋を使ったエンカウスティックの作品を展開。2017年 NY BROOKLYN BEAUTY/FASHION LABOに出展、12月のJ-COLLABO ANNUAL EXHIBITIONにて大賞を受賞。2018年9月には六本木CLEAR GALLERY TOKYOでの初の本格国内展示を成功。アートフェア東京2019では、彼女を支援し続けるWooly magazineとCLEAR GALLERY TOKYOが合同で中瀬萌の最新作品群を発表する。

estrogen / 蜜蝋・油彩・樹脂 / 1200 × 910 × 40mm / 2018
estrogen / Beeswax . Oil painting . resin / 1200 × 910 × 40mm / 2018

P03 Takashi Somemiya Gallery

主人公 / Syujinko



主人公という作家名は既に活動している作家の別プロジェクトとして約一年前にスタートした。アニメのキャラクターをモチーフとしているが、全て架空のキャラクターであり、タイトルは全て“わたし”だ。アートフェア東京2019では「吾輩は猫である」のように、憑依の媒体として“主人公”が“わたし”を表出させる。例えばゲーム「ドラゴンクエスト」で主人公を選ぶように、世の中は憑依の媒体で溢れている。展示はそれらの断片によるインスタレーションである。

わたし / キャンバスにジクレープリント+アクリル彩色 / 700 x 700 mm / 2018
Watashi / Giclee print and acrylic on canvas / 700 x 700 mm / 2018



P04 木之庄企畫

山田航平 / Kohei Yamada



山田航平は広島市立大学在学中の2015年から作家活動を開始した。中国、韓国、台湾といったアジア圏でのアートフェアで確かな実績を残し、海外の顧客を持つ若手油絵作家(2016年に同大学院を修了)。2017年に木之庄企畫にて開催した東京初個展では8割以上を売り上げ、日本のコレクターにもその存在価値を知らしめた。アートフェア東京2019では、丁寧かつ繊細な独自の手法によって描かれた8号~30号のポップな絵画作品を展示する。

インフィニティ・ガール (赤) / パネルに綿布、油彩 / 455 x 455 mm / 2018
Infinity Girl (Red) / Cotton on panel, Oil / 455 x 455 mm / 2018

P05 四季彩舎

瀬戸 優 / Yu Seto



瀬戸優は1994年に生まれ、2014年より東京藝術大学美術学部彫刻科に入学、2015年から彫刻家である大森暁生氏のアシスタントを務めている。自然の生命感を最大限に引き出すための造形を模索し、土、水など星の大きな力の循環の一部を切り取るような意識で制作する。粘土を素焼きしたテラコッタ(土器)は作家の触覚や軌跡がダイレクトに表面に現れ、躍動感のある作品となっている。アートフェア東京2019では、「水」をテーマにライオン、ウサギ、フェネック、など個性豊かな動物たちの彫刻を展示する。

月を知る-オオカミ- / テラコッタ、石膏、彩色、玉眼 / H750x W300x D450 mm
Know the moon -Wolf- / terracotta, colors, glass eye / h750x w300x d450 mm / 2018

P06 ex-chamber museum

小野川直樹 / Naoki Onogawa



小野川直樹は、紙で折った極小の鶴を用いて樹木を模した作品を制作する。一作品あたり数百から千を超える無数の折り鶴の群れは厳かな雰囲気を出し、さらに鑑賞者の心を掴む圧巻のディテールがそこに備わる。アートフェア東京2019の会場では、新たなアプローチも取り入れながら、空間全体で繊細な世界観を構築する。

flash / 素材・技法：折り鶴、ミクストメディア / H340×W380×D280 mm / 2018

P07 TALION GALLERY

小泉圭理 / Keisuke Koizumi



小泉圭理は身体や事物の交わりをモチーフとして、ペインティングやドローイング、石膏などを用いた立体作品を制作している。小泉の作品にあらわれる身体像というモチーフは、梁や柱の構成からなる建築的な構造物であり、人間的な生気や性愛を収容するための器でもある。アートフェア東京2019では、身体をかたどった変形キャンバスの作品やドローイング、立体作品を展示する。

向き合う / 油彩、ニス、メディウム、膠、木、釘、綿布 / 1210 x 1812 mm / 2013
Facing Each Other / Oil, varnish, medium, glue, wood, nail, cotton / 1210 x 1812 mm / 2013

P08 HAGIWARA PROJECTS

今井俊介 / Shunsuke IMAI



今井俊介は1978年生まれ。色や形といった絵画の基本的な要素についての考察を元に彩度の高い色を使ったストライプや円が重なりあう構図を描く。絵画空間の可能性と「観ること」の本質を探求する。近年は、ファッションブランドとのコラボレーション、大型壁面作品の制作や、作品が描かれた布を使って撮影した映像作品など、キャンバス上だけではない表現活動の幅を広げている。アートフェア東京2019では新しい展開を見せる新作絵画を発表する。

untitled / acrylic on canvas, / 320 x 400 mm / 2018



P09 Maki Fine Arts

アレックス・ダッジ / Alex Dodge



アレックス・ダッジは1977年アメリカ生まれ、ニューヨーク在住。レーザーカットステンシルを用いて、絵の具をキャンバスに押し付ける手法で作品を制作。メトロポリタン美術館、ニューヨーク近代美術館、ホイットニー美術館などに作品が収蔵され、2019年3月23日からMaki Fine Arts（東京）で個展を開催する。アートフェア東京2019は日本での初展示となり、ニューヨークタイムズをモチーフとした作品シリーズの新作を展示予定。

The Trauma of Information (November 13, 2017) I / oil on linen / 600 × 810 mm / 2018

P10 JINEN GALLERY

戸賀崎珠穂 / Tamaho Togasaki



戸賀崎珠穂は資本の力で投資と回収を繰り返す東京を描く。望むと望まざるとにかかわらず進む時間。加速度をましたスクラップ&ビルドにより、常にモノは新しく更新され、過去は静かに忘れ去れていく。幼い頃から東京を見続けてきた戸賀崎は、忘れ去れていくモノを一つ一つ拾い上げ、記録し、記憶していく。見つめた景色と自身の存在を確認するように制作している。今回のアートフェア東京2019では、東京という大都市の表層に焦点をあてた展示となる。

180106-1 / キャンバスにアクリル絵具 / 900×900mm / 2018

P11 COMBINE/BAMI gallery

宮本大地 / Daichi Miyamoto

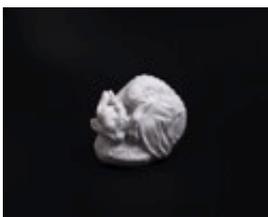


宮本大地は1991年大阪府出身、27歳。2013年京都精華大学卒業。明治・大正・昭和時代の機器をモチーフに、独特の空間構成（ジオラマ）で現実にはありえない作家独特のトランス世界を構築し制作する。アートフェア東京2019では、作家が夢想する超現実的な所在地の各所を作品約20点の構成でポップアップ的に紹介し展開する予定。

工場岩 / Acrylic on panel / 530 x 455 mm / 2018

P12 Gallery花影抄

佐野 藍 / Ai Sano



佐野藍は大理石を用い、ドラゴンなどの幻獣や動物を制作する彫刻家。アートフェア東京2019では、大理石という素材の内包する時間と作家の世界観がより強く融合した作品群10点あまりを「一白い世界の中で生まれ、そして還っていくドラゴン達は人知れず、長い時間をかけてそれを繰り返す」というテーマで展開する。佐野の魅力は、漠然と縁遠い存在だった大理石彫刻への先入観をリセットするところにある。新世代の大理石彫刻の魅力を伝える作品を展示する。

Holy / Marble / 140 × 140 × 140 mm / 2017 / Photo : Kenji Agata

アートフェア東京(AFT)とは

アートフェア東京は、毎年春に東京で開催されている国内最大級の国際的なアート見本市。国内外の厳選されたギャラリーが出展し、古美術・工芸から、日本画・近代美術・現代アートまで、幅広いジャンルの作品が展示・販売される。会期中は、歴史に紐づいた日本のアートを発信するだけでなく、東京のアートシーンやマーケットの“今”を伝える企画展示、関連するシンポジウムやパーティーを都内各所で開催する。国際的で多様なアートマーケットのプラットフォームであるアートフェア東京は、アートファンやアート関係者のみならず、各国大使、行政関係者、経済界の主要な人々の情報交換・社交の場として、多くの来場者が訪れる。(2018年実績:60,026人)

一般社団法人アート東京 広報担当：島田／岸本

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4階

TEL: +81-(0)3-5797-7912 / FAX: +81-(0)3-5797-7913 / E-MAIL: press@artfairtokyo.com



アートフェア東京 2019 開催概要

主催：一般社団法人 アート東京、テレビ東京、BSテレビ東京、イープラス
企画内容：国内外コマースギャラリーによる美術品の展示及び販売
開催日程：2019年3月7日(木)～3月10日(日)4日間 (最終入場は各日終了30分前)

プレスビュー	3月7日(木)	13:00-14:00
プライベートビュー	3月7日(木)	14:00-16:00
ベルニサージュ	3月7日(木)	16:00-20:00
パブリックビュー	3月8日(金)	11:00-20:00
	3月9日(土)	11:00-20:00
	3月10日(日)	11:00-17:00

※時間は全て予定

会場：東京国際フォーラム・ホールE(東京都千代田区丸の内3-5-1) JR・地下鉄 有楽町駅徒歩約1分/JR東京駅(京葉線)徒歩約5分

入場料：前売券 /1DAYパスポート 4,000円(税込)
当日券 /1DAYパスポート 5,000円(税込)(小学生以下は、大人同伴の場合に限り入場無料)

後援：内閣府 外務省 経済産業省 厚生労働省 文化庁 観光庁

アフガニスタン・イスラム共和国大使館	ガーナ共和国大使館	ナイジェリア連邦共和国大使館
アルゼンチン共和国大使館	グアテマラ共和国大使館	ノルウェー大使館
アルメニア共和国大使館	ギニア共和国大使館	オマーン・スルタン国大使館
バーレーン王国大使館	ハイチ共和国大使館	パキスタン・イスラム共和国大使館
ベルギー王国大使館	ホンジュラス共和国大使館	パラオ共和国大使館
ベリーズ大使館	ハンガリー大使館	パナマ共和国大使館
ベナン共和国大使館	アイスランド共和国大使館	パラグアイ共和国大使館
ボリビア多民族国大使館	インドネシア共和国大使館	ペルー共和国大使館
ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	イラン・イスラム共和国大使館	フィリピン共和国大使館
ボツワナ共和国大使館	アイルランド大使館	ポルトガル大使館
ブラジル大使館	イスラエル大使館	サモア独立国大使館
ブリティッシュ・カウンシル	イタリア大使館	サンマリノ共和国大使館
ブルネイ・ダルサラーム国大使館	ジャマイカ大使館	セネガル共和国大使館
ブルガリア共和国大使館	ヨルダン・ハシェミット王国大使館	セルビア共和国大使館
ブルキナファソ大使館	韓国大使館 韓国文化院	シンガポール共和国大使館
在日カンボジア王国大使館	キルギス共和国大使館	スロヴァキア共和国大使館
カメルーン共和国大使館	レバノン共和国大使館	スロヴェニア共和国大使館
チリ共和国大使館	レソト王国大使館	南アフリカ共和国大使館
中華人民共和国駐日本国大使館	リトアニア共和国大使館	スペイン大使館
コロンビア共和国大使館	マケドニア共和国大使館	スーダン共和国大使館
クロアチア共和国大使館	マダガスカル共和国大使館	スイス大使館
キューバ共和国大使館	マラウイ共和国大使館	シリア・アラブ共和国大使館
チェコ共和国大使館	マレーシア大使館	タイ王国大使館
デンマーク大使館	モルディブ共和国大使館	東ティモール民主共和国大使館
ジブチ共和国大使館	マリ共和国大使館	トーゴ共和国大使館
ドミニカ共和国大使館	マーシャル諸島共和国大使館	トンガ王国大使館
コンゴ民主共和国大使館	メキシコ合衆国大使館	チュニジア共和国大使館
エジプト・アラブ共和国大使館	モルドバ共和国大使館	ウガンダ共和国大使館
エルサルバドル共和国大使館	モロッコ王国大使館	ウクライナ大使館
エリトリア国大使館	モザンビーク共和国大使館	アメリカ合衆国大使館
フィジー共和国大使館	ミャンマー連邦共和国大使館	ウルグアイ東方共和国大使館
フィンランド大使館、東京/フィンランドセンター	ナミビア共和国大使館	ウズベキスタン共和国大使館
フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本	オランダ王国大使館	イエメン共和国大使館
ヴィラ九条山	ニュージーランド大使館	ザンビア共和国大使館
ドイツ連邦共和国大使館	ニカラグア共和国大使館	ジンバブエ共和国大使館

日本赤十字社

北海道、群馬県、京都府、奈良県、香川県、富山市、金沢市、岐阜市、京都市
日本経済新聞社、毎日新聞社、文化放送、TBSラジオ

協賛：寺田倉庫、株式会社モリモト、ザ・ペニンシュラ東京、住友不動産株式会社

特別協力：MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社

オフィシャルファニチャー：株式会社イロコデザインジャパン

協力：株式会社 羽田未来総合研究所、株式会社 寺岡精工、瀬祭、ミネベアミツミ株式会社、アークヒルズクラブ、六本木ヒルズクラブ

企画協力：株式会社八紘美術

特別協力美術館：出光美術館、エスパス ルイ・ヴィトン東京、群馬県立近代美術館、国立新美術館、サントリー美術館、東京オペラシティ アートギャラリー、東京国立近代美術館、東京都現代美術館、東京都美術館、戸栗美術館、原美術館、ポーラ美術館、三菱一号館美術館、森美術館、横浜美術館

パートナーイベント：ART in PARK HOTEL TOKYO 2019/3331 アートフェア 2019/Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA

ホームページ：<http://artfairtokyo.com>

問い合わせ：一般社団法人 アート東京 〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4階
Tel.03-5797-7912/Fax.03-5797-7913/E-mail: info@artfairtokyo.com

一般社団法人アート東京 広報担当：島田/岸本

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4階

TEL: +81-(0)3-5797-7912 / FAX: +81-(0)3-5797-7913 / E-MAIL: press@artfairtokyo.com